

平成25年 地域特産物需要拡大技術確立推進事業 事業評価結果

※評価            A：計画以上の成果が見られる、    B：計画通りの成果が見られる、C：計画どおりの成果が見られない

インデックス ページ	事業名	事業実施主体	事業概要	事業費（千円） （うち国費 千円）	評価	所見	委員からのコメント
14	地域特産物需要拡大技術 確立推進事業	茶需要拡大技術確立推進協 議会	全国的な視点に立って、茶に係る生産から流通、消費にわたり茶業と関連産業の経営及び茶の商品性並びに社会、経済、文化など各般の現状を調査分析し、茶の需要拡大に資する取組を行う。	20,093千円 （うち国費20,000千円）	B	・茶の生産・流通・消費にわたり、現状を調査分析し、茶の需要拡大を図るために、①新しい飲み物としての緑茶エスプレッソの開発、実証②発酵食材としての茶の開発・実証を行い、成果の波及にも努めている。 ・計画的な事業の取組による成果目標の達成状況、予算の適正な執行やその規模に見合った成果等から、計画どおりの事業実績として評価できる。	－
		全国い産業連携協議会	いぐさ生産において、植付は植付機の価格が高く、生産者への普及がすすんでいない。このため、汎用の植付機をベースにいぐさ用植付機のアタッチメント等の開発を行う。 また、ジャパンホームショー（展示会）への参加や研修への講師派遣による普及活動等を行う。	17,813千円 （うち国費17,813千円）	B	実施主体において、幅広い分野の外部専門家による推進委員会が機能し、その助言指導の下に、適切かつ効果的な事業推進が図られている。その結果、植付ユニットの開発や需要拡大に資する取組が行われ、設定された成果目標も概ね達成されていることから、計画通りの成果が見られると評価される。	－
		福岡県花筵協同組合	花ごさ製品の加工工程では従来A重油バーナーが用いられているが、本事業により筑後大川地区の家具工場から排出される木くずを燃料として利用するペレットバーナーの導入による生産コストの削減効果の検討を行う。 また花ごさ製品の消費・需要動向を調査する。	10,354千円 （うち国費10,200千円）	B	実施主体において、幅広い分野の外部専門家による推進委員会が機能し、その助言指導の下に、適切かつ効果的な事業推進が図られている。その結果、ペレットバーナーの導入による生産コスト削減効果の検討、花ごさ製品の消費・需要動向調査や情報発信等が行われており、設定された成果目標も概ね達成されていることから、計画通りの成果が見られると評価される。	－
		一般社団法人 日本パイン アップル缶詰協会	我が国のパインアップルの栽培面積の減少に歯止めをかけ、産地の維持、発展を図るため、施肥改善等による単収の向上や収穫作業の省力化による生産者の所得向上や、加工施設の収益力向上に繋がる新たな商品開発等技術実証を行う。	25,028千円 （うち国費20,000千円）	B	パインアップル産地が抱える課題解決に向けた取組を計画通りに実施されている。新商品のコスト低減や単収向上に向けた具体的改善策の検討など、今後の課題も見受けられるが、概ね計画通りの成果が得られたと考えられる。	－
		日本薬用作物検討協議会	専用の農業機械がなく、労働集約的に行われている薬用作物について、4品目（オタネニンジン、トウキ、トリカブト、シャクヤク）の専用農業機械を改良・開発することで、生産・需要拡大に向けて新たな栽培技術体系の確立を目指す。また、国産薬用作物の需要拡大に向けて、医療機関、薬局、患者等に対し日本産薬用作物（生薬）のニーズ調査を実施する。	18,299千円 （うち国費18,299千円）	B	農業機械の改良・開発により、作業効率が向上し、労働時間の短縮、労働環境の改善がなされており、適切に事業が実施されている。 ニーズ調査により国産薬用作物の需要拡大に向けて需要者、消費者の意識等が明らかになっており、計画どおりの成果があったものと考えられる。	－
		全国甘草栽培協議会	薬用植物「甘草」の国内栽培に取り組む産地が相互連携を密にし、安定生産・安定供給の実現に向け栽培技術等における共通課題解決を図るため、検討会の開催、需要・消費動向等調査の実施、課題解決実証の実施、需要拡大に資する取組の実施を行った。	7,126千円 （うち国費7,126千円）	B	国内で甘草を試験栽培している4地区及び製薬会社が連携し、生産・加工技術の確立及び需要拡大に向けて、幅広い分野の専門家による検討や各種調査を行う等、適切に事業が実施されている。産地間連携の構築、産地共通の課題解決に向けた方策の提案がされる等、計画どおりの成果があったと考えられる。	－
		（公財）日本特産農産物協 会	地域特産物の技術の伝承等を通じ産地の維持・発展を図るため、地域特産物の生産・加工等の分野で卓越した技術能力を有し、産地育成の指導者ともなる人材を地域特産物マイスターとして認定・登録するとともに技術セミナー等開催して技術水準の向上等を支援する。	2,500千円 （うち国費2,500千円）	B	有識者による検討委員会の意見も踏まえながら、計画に即して地域特産物マイスターの認定・登録及びセミナー・討論会の開催等を行っており、適切に事業が実施されている。 地域特産物の技術の伝承を通じ産地の維持・発展を図るための取組が実施される等、計画どおりの成果があったと考えられる。	－